

平成28年度実施事業調査シート

■ 基本事項(事業の位置づけ)

No. 29	項目名	学びの教室開催費(放課後自習広場開設費)	主要な施策の 成果 ページ	99	担当 部署	教育委員会事務局 学校教育課
予算 科目	会計	1 一般会計	総合計 画 体系	分野	教育・青少年	
	款	10 教育費		基本方針	学校教育の充実	
	項	1 教育総務費		施策	教育内容の充実	
	目	3 教育指導費		当初予算における区分	新規施策・拡大施策・ 重点施策 ・その他	
事務事業	411	学力向上推進費	↑該当するものを○で囲んでください			

■ 事業概要(実施内容)

事業の背景	(事業開始の背景は?実施に至った経緯は?) 子どもを取り巻く環境の変化や、家庭や地域の子育て機能・教育力の低下が指摘される中、平日の放課後や土曜日に安全な子どもの居場所の確保を図るとともに、子どもたちの自主的な学習を支援し、学習習慣の確立や基礎的な学力の向上を促すために、学びのセーフティーネットの構築を図る必要がある。
事業の対象	(事業の対象、範囲となる人や物は何なのか?) 【放課後自習広場】モデル実施、市内6小学校(小学1年から小学4年までで参加を希望する者) 【学びの教室】市内の小学5年から中学3年までで本教室への参加を希望する者
事業の目的	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか?) 子どもたちが学習習慣や基礎的な学力をしっかりと身につけていくため、義務教育の各段階における学びのセーフティーネットづくりを推進する。
事業の内容 (取り組み)	(どういった仕事の内容を、どのような手法・やり方で実施したのか?) 【放課後自習広場】市内6小学校を会場に放課後の時間、自習教室を開催(宿題や希望の学習を持参) 【学びの教室】 小学5・6年:1回45分、年間30回(国語科・算数科各15回) 中学1・2年:1回50分、中学3年:1回90分、年間30回(英語科・数学科各15回) 委託業者が選定した教材を使用しながら、派遣された教員免許を持った講師が指導を行った。

■ 予算・決算状況

	当初予算の状況					決算の状況・実績				
内訳・詳細	放課後自習広場 ・報償金 1,400千円 (@1,000円×2人×2h×50回×7校) 土曜日学びの教室 ・保険料 200千円 ・委託料 2,657千円 放課後学びの教室 ・保険料 200千円 ・委託料 3,337千円					放課後自習広場 ・報償金 1,175千円 土曜日学びの教室 ・保険料 73千円 ・委託料 2,657千円 放課後学びの教室 ・保険料 49千円 ・委託料 3,207千円				
事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源
予算・決算額	7,794			7,050	744	7,161			5,611	1,550
前年度比	113%					109%				
◆「当初予算額」と「決算額」の増減理由(事業の進捗状況等)	【放課後自習広場】:予算では7校での実施を見込んでいたが、県の放課後活用事業を1校実施したことにより6校での実施となったため。 【学びの教室】:申込人数が定員に満たなかったため。									
◆平成27年度事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源
	6,880			2,500	4,380	6,594			710	5,884

■ 事業所管部署による評価

	評価	項目	評価の理由・評価に関する説明
必要性	3	市民ニーズが高い	【放課後自習広場】放課後の居場所づくり、学習習慣の定着に効果があった。【学びの教室】家庭の状況等に左右されず、学びたい児童生徒の学力補充・学習意欲の高揚を図る点で効果的であった。
	3	市の他の政策よりも優先的に実施すべきである	
	3	対象および内容が類似する事業がない	
妥当性	1	法令により実施することが義務付けられている	第2期草津市教育振興基本計画にも「確かな学力の育成のため、学びのセーフティーネットを構築するために「学びの教室」を開催する。」と位置付けており、全国的にも整備が進む方向にある。
	1	法令に定められた市の責務を具現化して実施する事業である	
	4	上位計画に明確に事業が位置づけられている	
	2	国・県・民間の類似サービスと重複していない	
	1	市民の基本的な生活の維持・確保に必要な事業、または内部事務である	
効率性	2	他の手法に比べて効率のよい事業手法である	家庭の経済状況に影響されず、「学びたい」「わかるようになりたい」という意欲をもった児童生徒が、参加している。会場や内容を吟味工夫することで、参加者を増やすことができた。
	3	コスト削減の余地はない	
	3	受益者一人当たりのコストは適正である	
	3	受益者負担や補助の割合に問題はない	
継続性	3	事業を継続することで、さらなる効果が見込まれる	参加者からのアンケート「来年も参加したい」【放課後自習広場:84%・学びの教室:78%】で継続を求める声が多い。
	3	所期の目的を達成しておらず、引き続き実施する必要がある	
	3	社会状況の変化に対応した事業内容である	
成果	3	当該年度の事業目的を達成できた	【放課後自習広場】「参加してよかった」93%、【学びの教室】「学力がアップした」89%で、事業の目的に合った評価が得られている。
	3	受益者の評価が得られている	
	3	費用対効果が大きい	

↑ 次の4段階により該当する数値を記入してください。

(4.よく当てはまる。 3.おおよそ当てはまる。 2.あまり当てはまらない。 1.ほとんど当てはまらない。)

■ 事業実施効果および課題、将来展望

事業実施効果	<p>【放課後自習広場】参加児童アンケートで、「参加してよかった」と答えている児童が93%と高く、また、支援員や保護者からも学習習慣の定着に役立ったという意見があり効果があったと捉えている。</p> <p>【学びの教室】参加者は、落ち着いた様子で学習に望んでいた。特に中学生は、真剣な表情であった。事業終了後のアンケート結果によると、本教室に参加したことで学力がアップしたと感じている児童生徒は、89%となっており、基礎学力の向上には手応えがあったと捉えている。「成績がよくなった」「来年も参加したい」という声もあり、継続して行っていきたい。</p>					
事業に対する市民の意見、反応	<p>1年間の教室終了時に来年もぜひ参加させたいという保護者の声があった。また、募集チラシを配布する前から「今年の学びの教室はいつから募集されるのですか」との問い合わせもあり、参加された方は前向きな評価をされている。</p>					
事業の今後の課題、将来展望	<p>【放課後自習広場】小学4年については、教育課程の関係で7時間目の実施になり下校について課題があった。そのため、平成29年度は小学1年から3年までとし、市内全14小学校での実施とした。尚、小学4年については、学びの教室の対象とした。</p> <p>【学びの教室】4か所の会場で参加者数に差があり、広報、啓発の方法、開催場所、内容等について、引き続き検討していく。</p>					
※平成29年度の 予算措置	予算額 (千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源
		9,452			2,440	7,012
	28年度比	121%				
	積算根拠					
		土曜日学びの教室 ・保険料 240千円 ・委託料 2,711千円	放課後自習広場 ・報償金 2,800千円 ・消耗品費 168千円 ・支援員保険料 31千円			
	放課後学びの教室 ・保険料 240千円 ・委託料 3,262千円					

※ 当該事業が平成28年度に終了した場合は、当該事業に代わって措置した予算や関連予算を記載してください。